

授業改善の工夫	自分の考えを整理・深化させる活動の工夫
---------	---------------------

高等学校国語科（文学国語）学習指導案	
単 元 名	物語を読む 『山月記』 中島敦
単元のねらい	情報と本文を結び付けることで、本文について未知であったことや考察が不十分であったことに気付き、探究するための新たな視点を獲得して本文に対する考察を深めることができる。
単元の流れ	<p>第1時 本文を通読し、初読の感想を書く。 （※初読の感想が多かった生徒の疑問を中心課題とし、それを解決するための視点として、5つの問いを設定する。）</p> <p>第2時 中心課題「なぜ李徴は虎になったのか。」に対する考えを書く。 問い1 「虎とは、どのようなイメージか。」（段階1） 【資料】・当時の中国の価値観について 問い2 「李徴が『いくばくもなく官を退いた』のはなぜか。」（段階1） 【資料】・唐代の価値観に関する文章。 ・前に学習した「進士」・「虎榜」の意味。</p> <p>第3～4時 問い3 「なぜ李徴は、袁傜に心情を語ったのか。」（段階2）【事例有】 【資料】・東山魁夷『風景との対話』</p> <p>第5～6時 問い4 「李徴が人間だった頃に作った詩は、なぜ認められなかったのか。」 【資料】・若松栄輔『詩を書くってどんなこと』（段階2） ・谷川俊太郎『詩を書くということ』</p> <p>第7～8時 問い5 「虎になった責任は、李徴にあるのか。」（段階2） 【資料】・詩を作ることが進士科の試験内容だったこと。 ・杜甫や李白に関すること。 ・偉人の名言。</p> <p>第9時 「中心課題」に対する考えを書く。（段階3） その他、考えてみたい「問い」と必要な「資料」を考えて書く。 （※同じ中心課題に対する考えを単元の最初と最後に書かせることで、考えが変容していることに気付かせ、学習の効果を実感させる。）</p>

本時のねらい（第3時）

資料から「新たな視点」を獲得し、本文に対する考察を深めることができる。

学習過程

段階	学習内容・生徒の活動	時間 (分)	◇指導上の留意点 ◆評価
導 入	<p>1 二つの初読の感想の、「理由」の違いに着目する。</p> <p>①李徴は<u>虎になってしまったので</u>「かわいそう」だと思った。 (最も多かった感想)</p> <p>②李徴が<u>人間だった頃の話を読んだ時</u>、とても悲しくなった。 (若干名の感想)</p> <p>(1) 自分の感想が①②のどちらに近いかを考える。 (2) 本文を確認し、②について、どう感じたかを伝える。 (本文を確認 3分) (ペア 2分) (3) 全体で確認。(1分)</p>	6	<p>◇②の視点に気付かせ、「まだ自分が気付いていない視点があるのでは」と感じさせ、関心をもたせる。</p>
展 開	<p>2 本文を読み、問い3「なぜ李徴は、袁儻に心情を語ったのか」を考え、記述する。</p> <p>3 資料「風景との対話」の範読を聞き、内容を整理するための補助プリントに記入する。</p> <p>4 資料と本文の似ているところを考え、3人グループになって自分の考えを伝える。</p> <p>5 全体で共有する。</p> <p>6 資料から獲得した「新たな視点」を活用し、問い3に対する考えを記述する。【ポイント】</p> <p>7 本文だけで考えた時と、資料を活用して考えた時の自分の記述の違いに注目する。(視点がどのように変わったのかを記述する。)</p>	6 10 6 6 8 5	<p>◇本文だけで、問い3を考えさせる。</p> <p>◇人物の置かれた状況に着目させる。</p> <p>◇本文と資料の共通点を抽象化させる。</p> <p>◆情報の内容を見極め、「新たな視点」を獲得し、本文に対する考察を深めることができる。 【思考・判断・表現】</p>
ま と め	<p>8 振り返りを記入する。</p>	3	